

巾着田 & 日和田山山行報告

【山行日】 2014年 9月 26(金) 晴れ
【集 合】 岩舟支所P AM 7:00
【費 用】 マイカー1台 : 3,500円
【メンバー】 CL:鈴木、石田、大西、島田、福田ヶ、渡辺
【コースタイム】岩舟支所P7:00=日和田山登山口 P8:40~
巾着田 9:00/9:40~日和田山登山口 10:00~日和田山
10:40~物見山 11:30/12:00~日和田山 12:30~
日和田山登山口 13:10=岩舟支所P15:30



以前から一度は見てみたいと思っていた巾着田の曼珠沙華、「五百万本の奇跡」にようやく出会うことが出来た。秋の彼岸頃の数日しか見頃の時季が無く、中々花の時季に合わせるのが難しい。帰りの混雑を考慮し、日和田山登山口の駐車場に車を止め巾着田に歩いて向かった。

この時季は一か月くらいの期間は、入場料300円を払って鑑賞する。我々は、あいあい橋先の入口から入場し、時計回りで散策することにした。



入口から入るとすぐに、木立ちの下を埋め尽くす曼珠沙華の花に圧倒される。パンフレットの『五百万本の奇跡』は大げさだろ、と思っていたが目の前の曼珠沙華の群生を見て納得させられた。皆さん木立を埋め尽くす赤い絨毯に感動し「ウワ~~こんなに凄いんだ~~、来てよかった。」と喜んでいた。

途中の広場には、地元の物産店のテントが並び、お茶の試飲や漬物の試食など楽しみながら歩いた。

途中から右側の土手に上がると、北側にコスモス畑が広がり、こちらも赤やピンク、白い花が咲き誇っていた。これから登る日和田山をバックに、記念写真を撮り、巾着田を後にする。日和田山登山口駐車場に戻り、登山靴に履き替えて出発する。登山口を上がるとすぐに広い道に出て、3つの方向に道が分かれているが、どの道も同じ所に出る。我々は真ん中の山道を進み、金刀比羅神社の一の鳥居に出た。ここからまた道が二分し、右の女坂と左の男坂に分かれる。女坂は穏やかな登山道で、男坂は急峻な岩稜の尾根を登る道。我々は男坂を進む。すぐに水場があり、ここでまた登山道が二分し、右側の岩稜を直登するコースを登った。

岩場が続く急峻な尾根を登り、15分ほど頑張ると金刀比羅神社に躍り出る。ここからは、さっき歩いた巾着田が巾着形に見下ろせ、気分爽快だ。神社の脇からひと登りで、杉林に



困まれた日和田山山頂に着く。山頂には宝篋印塔が建ち、小広場になっているが眺望は得られない。西に下り、日向方面への道を左に分けると、平坦な杉木立の尾根となり、登り返すと車道に出る。車道を左に進み、右側に東屋とトイレを見送り少し行くと物見山への道標があり、右の小道へ入る。

植林帯の急登をしばし頑張ると、ベンチが置かれた物見山山頂に着く。山頂では多くの登山者がラ



ンチタイム。我々も記念写真を撮り、空いているベンチに座って昼食を摂る。本日の山ごはんは定番のけんちんうどん。笹かまぼこや煮つけ、おひたし等もあり、デザートとコーヒーまで付いた豪華な山ごはんになった。昼食を食べた後は、来た道に戻るだけ。下りながら、この山は初めてと言っていたIさんが、4年前の山行で来たことを思い出し大笑い。その時の話でしばし盛り上がった。金刀比羅神社からは女坂を下ることにした。植林帯を、ゆるやかに下ると一

の鳥居へ出る。

一の鳥居からまっすぐ降りて、トイレに寄り駐車場に戻る。駐車場の入口に、野菜の無人直売所があり、皆さん気に入った野菜をゲットして帰路についた。

今回のお花畑の散策と、ほどほどの登りのハイキングを組み合わせた山行は好評で、家に帰ってから「とても良かったです。また今回のような企画をお願いします。」とのメールが複数届いた。

